



ツンドク

2021 年 7 月 発行 第 10 号
発行：市立名寄図書館
名寄市大通南 2 丁目 ☎2-4751

開館時間のご案内

本館 * 火・金・土・日	9:30~17:00
水・木	9:30~19:00
分室 * 月~金	9:30~17:00
土	9:30~13:00

『ツンドク』という名前には「本がどんどん積読（つんどく）になるくらいおもしろい本を紹介します」という気持ちが込められています。

こんにちは、市立名寄図書館です。

今年度から『ツンドク』の発行が 4 月、7 月、10 月、1 月の年 4 回になります！

「あれ？ 4 月のツンドク読んでないけど…」と思った人は、熱心なツンドク読者ですね。今年度は 7 月が最初の発行になります。

これからもみなさんに楽しんでもらえるような紙面を作っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。



📖 追悼 エリック・カール

1969 年に出版され、2019 年に 50 周年記念を迎えた『はらぺこあおむし』。62 か国語、5000 万部以上のベストセラーで、今もなお愛されている絵本です。その作者であるエリック・カールさんが、2021 年 5 月 23 日に 91 歳で亡くなりました。『パパ、お月さまとって！』、『くまさん くまさん なにみてるの』など数多くの作品があり、どの絵本もあざやかで楽しい気持ちにさせてくれます。小さいころを思い出して、もう一度読んでみませんか？



📖 キューブック

「キューブック」では毎月、^{キュービック}立方体の本棚にテーマを決めて本を^{ブック}展示しています。

8 月のテーマは「**中学生・高校生に読んでほしい本**」です。全部で 54 冊ありますので、夏休みは読書に勤しんでみませんか。

『哲学の世界へようこそ。』岡本裕一朗 『まいにち哲学』原田まりる 『東大集中力』西岡孝成 『もしアナタが食べものだったら性格診断』 『伝えよう心にのこる偉人たちの名言』国土社編集部編 『そうだったのか！歴史人物のなぞのなぞ』楠木誠一郎 『平成と天皇』半藤一利 『世界の国境を歩いてみたら…』『世界の国境を歩いてみたら…』番組取材班 『図解はじめて学ぶみんなの政治』アレックス・フリス 『北欧に学ぶ小さなフェミニストの本』サッサ・ブーレグレン 『数を数えるクマ サーフィンするヤギ』ベリンダ・レシオ 『オキノタユウの島で』長谷川博 『すごいぞ！はたらく知財』内田朋子 『なあにくそ！』藤堂良明 『外国語を身につけるための日本語レッスン』三森ゆりか 『少年少女のためのミステリー超入門』芦部拓 『あなたを好きになった瞬間』たちまちクライマックス委員会編 『晴れた朝それとも雨の夜』泉啓子 『わたしが少女型ロボットだったころ』石川宏千花 『オレは、センセーなんかじゃない！』おかざきさとこ 『若冲』黒田志保子 『真田十勇士』1~3、外伝 小前亮 『夏空白花』須賀しのぶ 『そば打ち甲子園！』そば打ち研究部 『夜が暗いとはかぎらない』寺地はるな 『OJOGIWA』藤崎翔 『揚げば尊し』1~3 いずみ吉紘脚本 舟崎泉美小説 『ほんものの友情、現在進行中！』菊池寛ほか 『ほんとはずっと好きだった』たちまちクライマックス委員会編 『さよなら鹿ハウス』丸尾丸一郎 『名作転生』1~3 『キャプテン』1~3 ちばあきお原作 山田明小説 『ムスメからおとうさんへ。』k.m.p 『彼女のためにぼくができること』クリス・クラッチャー 『エヴリデイ』デイヴィッド・レヴィサン 『薬屋のひとりごと』1~10 日向夏原作 倉田三ノ路作画

今回のテーマ別おすすめ本は「朝読書におすすめの1冊」です。

「朝の短い時間に最適の一冊」



『虫ぎらいはなおるかな?』昆虫の達人に教えを乞う

金井真紀 // 著 理論社 2019年 Y486/カ ヤングアダルト

暖かくなると、まずはクモがうろつき始め、毛虫がはい始めるとチョウが舞う。

虫ぎらいにとっては恐怖の季節がやってきました。この本は虫ぎらい歴40年余りの作者が虫ぎらいから脱しようと、虫と深く関わっている人々を訪ねるといふ話。虫と言っても身近にいるハエから初めて知る虫までさまざま…。こんなにも虫と共に生きる人たちがいるのかと驚きですが、みなさんとても楽しそうに語っています。

ふりがな・イラスト入りの159ページ、理論社『世界をカエル』シリーズの1冊。

「本にも人にも運命の出会いがある」



『きみに贈る本』

中村文則 // 著 佐川光晴 // 著 山崎ナオコーラ // 著 窪美澄 // 著 朝井リョウ // 著 円城塔 // 著

中央公論新社 2016年 Y019/キ ヤングアダルト

この本は現在活躍中の6人の作家が過去に影響を受けた本を紹介しているブックガイドです。

1冊の本の紹介はどれも3ページと短いのですがストーリーの説明だけではなく、人生や幸福について考えた本、つらい時に貪るように読んだ本、夢中になって眠れなくなった本、人生の進む道を決めるきっかけになった本など作家自身の体験も一緒に書かれているので思わず読みたくなっちゃう本がいっぱいです。

朝の眠い時間でもさらっと読めちゃう1冊です。ぜひ朝読書に読んでみてください。

「これから社会に出る人たちに」



『エール!』1 お仕事小説アンソロジー

大崎梢 // 著 平山瑞穂 // 著 青井夏海 // 著 小路幸也 // 著 碧野圭 // 著 近藤史恵 // 著

実業之日本社 2012年 B913.6/工 文庫

6つの短編集からなるショートストーリー集です。

さまざまな職業の裏側や豆知識、仕事を通じた人間関係、喜怒哀楽を描いています。どの職業も大変だけど、人から感謝されることがやりがいや頑張りに繋がる、やっている仕事は巡り巡って誰かに届いていることが感じられます。仕事に対して背中を押してもらえそうな、前向きになれる本です。シリーズで2と3も出ているので、そちらもぜひ読んでみてください。

📖 YA 新着 (4月~6月)

4月~6月の間に新しく図書館に入った本を紹介します。

中高生向けに様々な本を紹介する『中高生のための本の読み方』(ひつじ書房)、英語学習本『ミステリ仕掛けの英単語』(学研プラス)、多様性をテーマにした物語『わたしの気になるあの子』(ポプラ社) などなど、19冊の本が仲間入りしました! 他にどんな本があるのか気になる人は、図書館にさがしに来てみてください。



これからの行事・イベント予定について

図書館では、今年もさまざまなイベントを企画しています。

『ツンドク』でもいろいろなイベントの予定をお知らせしたかったのですが、中止・変更の場合があるので、今後のイベントの予定については図書館のHPやtwitterで確認をお願いします。



市立名寄図書館

@nayoro_library

